

2025 年 10 月 8 日
株式会社ソフトクリエイト

「AI 導入・活用における企業の動向と情報システム部の意識調査 2025」を公開 ～AI 推進の鍵はシステム連携とセキュリティ対策。最新課題が明らかに～

株式会社ソフトクリエイト（本社：東京都渋谷区／代表取締役社長：林 宗治、以下 ソフトクリエイト）は、企業の AI 導入・活用に関する最新動向を把握するため、情報システム部門（以下、情シス）を対象とした「AI 導入・活用における企業の動向と情報システム部の意識調査 2025」を実施し、調査レポートを公開しました。本調査は、情シス向け専門メディア「情シスレスキュー隊」にて結果を掲載しています。

本年度調査では、AI の導入・活用に何らかの形で関与する情シスの割合が、前年の約 6 割から 8 割弱へと大幅に増加。AI 活用が社内の多様な部門に浸透しつつある一方、組織的な活用を進めている企業は依然として 5% 未満に留まるなど、システム連携やセキュリティ面での課題が明確になりました。

◆調査結果

調査期間：2025 年 6 月 6 日（金）～ 2025 年 6 月 20 日（金）

調査方法：自社ハウスデータベース上でのオンラインパネル調査

調査対象：Web メディア「情シスレスキュー隊」のメルマガ購読者で自社の IT システム運用に関与する方

回答者数：418 名

調査企画/実施：株式会社ソフトクリエイト

調査結果資料：<https://go.softcreate.co.jp/ai-it-management-survey-report-2025.html>

◆サマリー



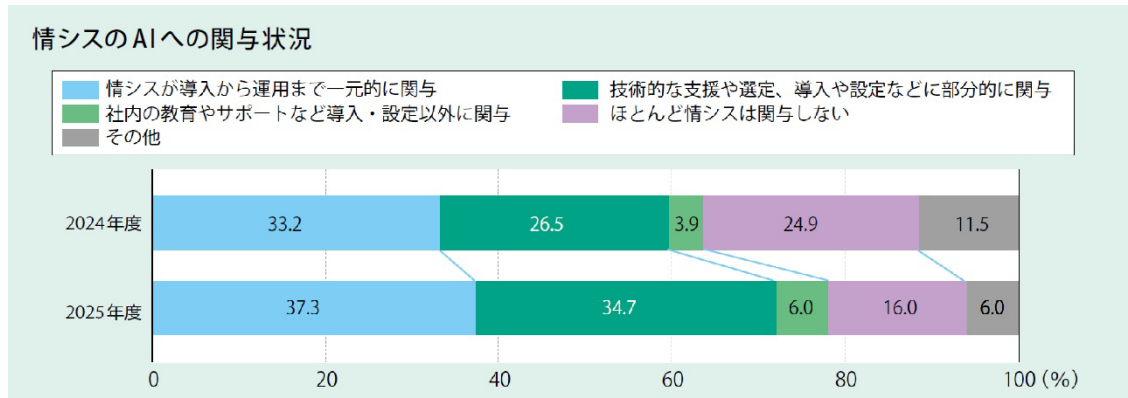
総評

「AI導入・運用等に関与する情シス」は8割に増加。
一方、AIの本格的な利活用は5%未満にとどまる。
「セキュリティも考慮しAI製品を選定」は半数に。

- AI 導入・活用が広がる中、その選定や導入、運用などに関与する情シスの割合は約8割に増加。昨年度より約2割増加した。今後「AIまわり」も情シスの新たな業務の1つになっていくと考えられる。
- AIを「安全に導入」し「チャットで利用」する先に、組織での本格的なAI活用がある。しかしそれには、AIを社内システムと連携したり、業務フローに組み込んだりすることが必要。さらに、社内に散在するデータを収集し活用できる形にすることも求められる。ここに分厚い「壁」があり、その先に進める企業が5%未満の理由と考えられる。
- 情シスのAIに関するセキュリティ意識が高まっている。AI製品選定の段階からセキュリティも考慮する情シスは約半数。AIに関するガイドライン整備が進む中、AI製品自体もセキュリティ対策の重要ポイント。

◆情シスの AI への関与が 6 割から 8 割弱に増加、全社的な利用が進展

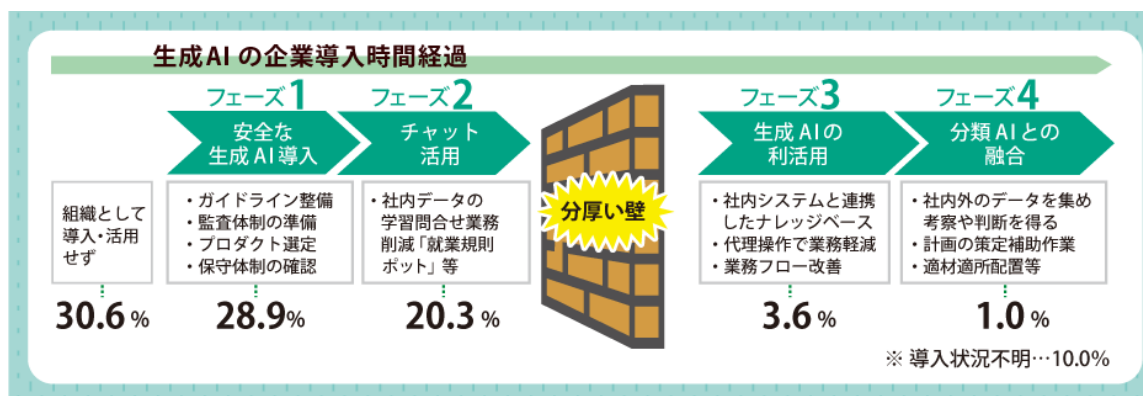
2024 年 6 月と 2025 年 6 月の調査結果をもとに、「情シスの AI への関与状況」について 1 年間の推移を見えます。



「導入から運用まで一元的に関与」は 4%増加、「技術的な支援や選定、導入や設定などに部分的に関与」は 8%増加しました。さらに、「社内の教育やサポートなど導入・設定以外に関与」ケースも含めると、何らかの形で AI に関与している情シスの割合は、2024 年度の約 6 割から 2025 年度には 8 割近くへと大きく拡大しています。背景には、業務効率化や人材不足対応など、全社的な AI 活用ニーズの高まりがあると考えられます。

◆AI の組織的な活用の壁は「社内システム連携」

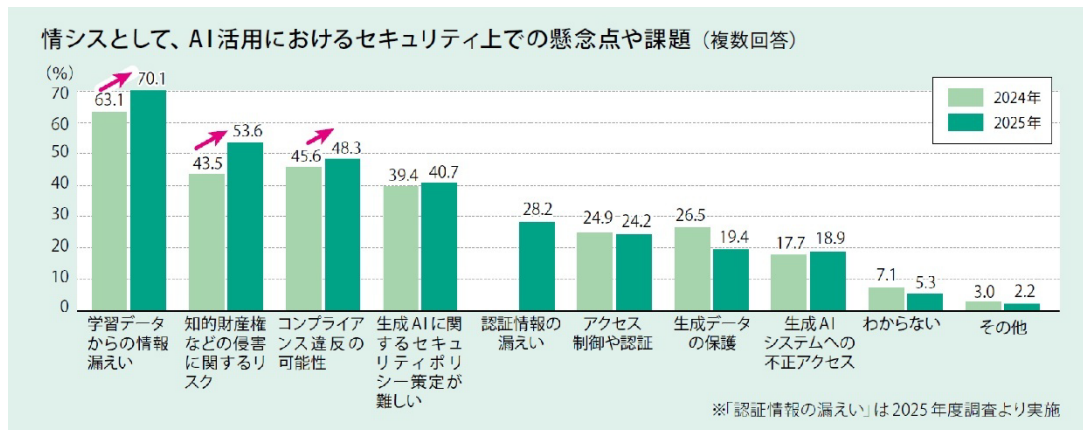
AI が企業にもたらす様々な価値への期待が高まる中、実際の組織的な導入・活用状況について、4 つのフェーズに分けて自社の現状を尋ねました。



「フェーズ 1：安全な生成 AI の導入」が 28.9%、「フェーズ 2：AI チャットの業務利用」が 20.3%と、導入や業務活用の動きは進んでいます。一方で、「フェーズ 3：社内システムとの AI 連携」はわずか 3.6%にとどまり、ここで大きく割合が減少することが分かりました。この結果から、AI 導入は進みつつあるものの、組織全体での本格的な活用やシステム連携には高い壁があることが明らかになりました。

◆「学習データからの情報漏えい」への懸念が7割超へ増加

AIの業務利用において特に重要なセキュリティ面について、懸念や対策状況について調査しました。



「学習データからの情報漏えい」に懸念を示す回答は7割を超え、昨年度からさらに増加しました。また、「知的財産権侵害」「コンプライアンス違反」などのリスクへの意識も拡大しています。こうした傾向を踏まえると、AI導入時にはセキュリティガイドラインの策定や運用ルールの明確化、さらにはAI製品選定時におけるセキュリティ基準の重視が、今後ますます重要になると考えられます。

◆全ての調査結果は、以下調査結果資料よりご覧いただけます。



数字で見る情シスとAI導入・活用の実態 2025

[AI導入・活用における企業の動向と情報システム部の意識調査 2025]

URL : <https://go.softcreate.co.jp/ai-it-management-survey-report-2025.html>

<調査項目概要>

- ・エグゼクティブサマリー
- ・情シスの生成AIへの関与状況
- ・組織的なAI導入・定着に向けた実情
- ・AIとセキュリティ対策
- ・情シスから見たこれからのAI活用



◆「情シスレスキュー隊」について

株式会社ソフトクリエイトが運営する情報システム担当向けのメディア。情シスを中心に、情報システムを扱う中小企業の担当者の悩みを解決するメディアサイトです。AI・生成AIをはじめ、ITインフラ、システム運用、セキュリティなど幅広いテーマを取り扱います。

URL : <https://www.softcreate.co.jp/rescue>

◆ソフトクリエイイトの AI ソリューションについて

「AI を企業インフラに」をビジョンに掲げ、企業向けに生成 AI 導入支援や自社 AI 製品を提供。AI によるビジネスの新たな価値創出を支援します。

URL : <https://www.softcreate.co.jp/solution/ai>

■株式会社ソフトクリエイイトについて

ソフトクリエイイトは、お客様の変革に不可欠なベストパートナーを目指し、企業向けの総合的な IT サービスを提供しています。クラウド、セキュリティ強化、AI・DX 支援、IT インフラ構築を主要な事業とし、最適なテクノロジーを通じた「価値の提供」でお客様のビジネスを支援します。40 年以上にわたり、お客様と共に培った経験を生かし、日本全国の企業へサービスを届けていきます。

<会社概要>

会社名：株式会社ソフトクリエイイト

代表者：代表取締役社長 林 宗治

設立：2012 年 10 月

資本金：2 億円（2025 年 3 月 31 日現在）

所在地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-15-1 渋谷クロスタワー

URL : <https://www.softcreate.co.jp/>

※ 記載している会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。



SOFT CREATE

進化し続ける IT、明日も未来も一緒に。

株式会社ソフトクリエイイト

SOFTCREATE CORP.

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2 丁目 15 番 1 号 渋谷クロスタワー

■プレスリリースについて

企画統括部 佐藤

Tel : 03-3486-1520

Mail : sc-contact@softcreate.co.jp